

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號六第 卷二十第

行發日一月六年十正大

論叢

中世都市の發達

文學博士 三浦 周行

社會的法的經濟學の考察

文學博士 米田庄太郎

純理上より見たる財産重課の理由

法學博士 神戸 正雄

戰後獨逸の社會主義運動

法學博士 河田 嗣郎

時論

増俸の研究

法學博士 小川郷太郎

說苑

我國農產物生産調査に就いて

法學博士 農學博士 高岡 熊雄

舊岩國藩の製紙原料保護政策

經濟學士 吉川 元光

所得と勞賃

經濟學士 堀 經夫

雜錄

史的唯物論略解

法學博士 河上 肇

Zimmermannの政治測量

法學博士 財部 靜治

勞働組合主義變轉の傾向

法學博士 河田 嗣郎

附錄

本誌第十二卷總目錄

Zimmermann の政治測量

財部 靜治

社會測量 Social Survey といふ名目が、近年米國に於て、都鄙公共團體に關する、特殊の包括的調査に、附與されつゝあるは、社會學統計學に通曉せる者の承知せる所なり、然るに「政治測量」A Political Survey of the Present State of Europe, in Sixteen Tables, illustrated with Observations on the Wealth and Commerce, the Government, Finances, Military State, and Religion of the several Countries と題せる一書が、古く一七八八年に北獨 Braunschweig の、自然理學教授 F. A. W. Zimmermann により著はされ、(一七八七年の序文を載す)その著書は又英國有數の一統計學者により「統計學」Statistics 及「統計的」statistical といふ二語を、始めて英語中に入れしむるに至りし功績を、之に歸すべきに似たりと、せらるゝ所なるの事實は (拙著社會統計論綱七頁以下 Yule, Theory of Statistics, p. 1 參照) 人必すしも之を知

らす、吾人は近日同書を入手せるを機會とし聊か之か解説を試みんと欲す。

當時の英國にありては、政治算術相當の發達を遂げ、現に同學派幾多の代表者中、有力なる一人 George Chalmers が、英國々勢の比較研究 Estimates of the Comparative Strength of Britain during the Present and Four Preceding Reigns 初版を、出せるも一七八二年にあり、從ひて政治事情國勢に關する研究、當時の英國に缺けたりと言ふを得す、然るに右の著者は序文の劈頭に於て、説き得たり。

英國に於ける政治的常識の普及、局限せらるゝことを知れる、同國の數紳士に鼓舞せられ、一面予の本國(獨逸)に備はれる、無數參考資料の助けを得て、歐洲新測量概要としての本書を、敢て公衆に勧めんとす

と、而して引續き統計學か、特殊の一學問として、研究せらるゝに至りしは、獨逸にあることを説いて曰く、

政治的知識中、輒近諸國の實力及相對的勢力

を、その研究物體とし、その自然的諸長所、その住民の勤勉及文明、その政府の智慧に、起因する勢力を、究めんとする一部門か、主として獨逸の諸學者により、特別の一學問に編まれたるは、約四十年前にあり

と、かくて特に Achenwall の功績を暗示しおきつゝ、かゝる研究がその以前にありては、不當にも地理に組込まれ、又皮相的に研究されたるのみなるを説き、今や「統計學」てふ新名目の刻印により、顯彰さるゝこの新學問は、一層便利なる形式を備ふるに至り、又重きをなすに至れり、獨逸にありては好みて、研究せらるゝに至れるを説き、引いて獨逸人を以て、かゝる研究に適すとすへき、特別事情として指摘せる所、頗る要領を得たり、曰く

英國の臣民は、その時並に熱情を、その自國の政治事項に傾註するのみにて、日も亦足らざるを得へきも、獨逸人はその政府の性質に本つき、又その一部の徒その身を寄する國は、小にして政治上微力なるの事情に本つき、

自國政事向きのことに就き、個人的に關與すること、英人同様に大なるを得ず、活動力及好奇心を有すること、少くとも同じ程度に達する限り、他の諸國に於る政治の研究に、餘暇をあつること多きを得へし、普通に又獨逸人間には、數國の近世語通用して、その研究を容易ならしめ。その國土の地位は、南歐北歐諸地方間の、知見交換に資す、されは特に政治の研究に、その助援を仰へき諸學問は、大なる熱心と成功とを以て、同時に攻究せられたり、化學、自然理學、博物史（博物史以外）、一新部門の科學的知識、即ち工學詳言すれば、有用工藝及工業に關する、學理及精説は獨逸に於て、大に開發せられたり、凡て是等の都合よき諸事情と、獨逸學者の倦まざる勉勵とに、想ひ及はす際、獨逸が歐洲政治事情に關し、歐洲に屬せる何れの他國民よりも、知識を啓發すること多きも、怪しむに足らず

と、而して氏は歐洲の形勢一斑を説くに先ち、之か參考書として掲げし幾多書目中、多少の英

佛文献をも擧げたりと雖も、その大多數は之をその當時尙「英國の政治評論家により、充分に參酌せらるゝことなかりし」獨逸書に仰けることを示し、右の論旨は此事實によりても、確めらるへしとし、又その自著内容の大部分は、自國學者の研究に負ふ所多きを、擧ぐるに躊躇せずしたり。之に附帶して又「本著出版の特別動機となれるものは、英國の青年旅行家か、慣例の歐洲大漫遊Grand Tourをなすに當り、浩瀚ならざる一著書として、有用の研究題目と、一層深遠なる知識を授くへき書目とを、之に指示すへきものを、供せんとするの希望にあり」かゝる知識は「その旅行により、何物をか裨益せんことを、希望し得るに先たち、」之に通曉するの必要を告ぐへき所なりとし、又研究を歴史的に推し擴げ「各國史の目ばしき年代」*poches*に關する、「考察」を添ゆるは、尊重すへき統計學者により、なされたることなるを附説しつゝ、自著中に掲ぐる諸表内にありては、「その形に示され易き、事實のみを入れ、その他のことは當然、引續ける

論文中にて説明するを得たり」とし、「本著中に含める諸事實に、政治的推理を挿むことゝせしならは、事實を列擧するの面倒退屈を、省き得しことも尠からざりしならん、されど一般評論以外に於ては、普通に之を避くることゝし、主として予の注意を、事實の確實及選擇に注きたり」と説けり。

著者は右の見地より、先づ歐洲に關する第一表を掲げて、その中に諸國面積、人口及人口密度の比較を遂げ、引續き歐洲の天產物、政治、歲入、陸海軍、宗教につき、間々簡單なる數字を挿みて、叙説する所あり、最後に一般評論を加へたり、その叙説上地理以上、一機軸を出さんとする努力の、痕跡は歴然たるものあるも、尙地理的叙説に偏せるの譏りは、免かれ難きに似たり、次に露西亞、瑞典、丁抹、波蘭、獨逸、普漏西、澳地利、和蘭、大不列顛及愛蘭、佛蘭西、サードニア、ネーブルス及シシリ、西班牙、葡萄牙、土耳其の十五ヶ國に就き、各別にその面積、人口、人口、密度、諸都市及その人口を、

示せる一統計表を掲げ、又その富及商業、政治、財政、陸海軍、宗教につき、數字を挿み、叙述し、一般評論を以て之を承くるは、歐洲一般に關する叙説と大差なく、特にその一般評論中、今日尙傾聽の値あるもの少きに非ず、各國に關する研究にありても、最初に先づ參考書を掲ぐるの方法をされり、唯歐洲一般に關する參考書として、掲げたる著書及定期刊行物は、特に氏の重んじたる所なるを以て就中、その著書目を、引用文面その儘の形により、抄録せんに

1. Achenwall's Staatskunde, &c. Account of the European States, by Mr. Achenwall. Göttingen, 1749, 8vo (German)
2. Einleitung in die Europ. Staatskunde, &c. Introduction to the Knowledge of the States of Europe, by M. Totze, 3d edit. 1785, 2 vols. (German) in English.
3. Lehrbuch der Staatskunde, &c. Manual of the present State of the European Powers, by M. Remer. Brunswick, 1786, 8vo. (German)
4. Vorbereitung zur Kenntniss der Europ. Staatsverfassung, &c. Introduction to the knowledge of the Con-

- stitution and present State of the Countries of Europe, by M. Busching, 1784. (German)
5. Busching's Geography translated, Lond. 1756, 5 vols.
 6. Dictionnaire Encyclopedique, par ordre de Matieres Oeconomie politique, tom. I. II. III. Paris 1784.
 7. Grundsätze der Plicei, Handlung und Finanz Wissenschaften. Elements of polity, Commerce, and the Science of Finances, by Sonnenfels, Wien, 1777.
 8. Introduction generale à l' Etude de la politique des Finances & du Commerce, par M. Beausobre.
 9. Andersson's History of Commerce (A new edition is now publishing)
 10. Introduction to Geography, by M. Gatterer. Göttingen, 1775.
 11. Raynal, Histoire des Etablissemens des Européens dans les deux Indes, 4to. 1781.
 12. Institutions Politiques, par le Baron de Bielfeld, 4to.
 13. Science du Gouvernement, par M. de St. Real.
 14. Europeans Producte, &c. The natural Productions of the several Countries of Europe, by M. Crome, 1781. (German)
 15. Über die Grosse Europens, &c. On the Size and Population of Europe, by the same author, 1785, 8vo (German)

16. Statistische Uebersicht, &c. Political Survey of the principal States of Europe. 1786 (German)
 17. Les Interets des Nations relativement au Commerce. Leiden, 1765, 4to.
 18. Sur la Richesse des etats, la Balance du Commerce & celle du pouvoir, par M. le Comte de Hertzberg, translated into English. Lond. 1786, 8vo.
 19. Beschreibung der Handlung, &c. An Account of the Commerce of the European States, by M. Struensee, 1778. (German)
 20. Handbuch für Kaufleute, &c. Manual for Merchants. Gotha I. (German)
 21. Statistische Tabellen, &c. Tables on the present political State of Europe, by M. de S-g. Fol. 1785. (Germ.)
 22. Mentelle, Geographie comparée, Geographie Moderne, 1783, 8vo.
 23. Beckman's Technologie. Goettingen, 1777.
- とあり、氏の著書に就き之を通覽するに、その當時に於ける獨逸の統計學、即ち國誌の研究を代表せるものとしては、決して深刻又包括的たりとするを得ず、又觀點如何によりては國勢の研究として、當時に於ける政治算術の研究を、

凌けりとするを得ず、唯獨逸に於ける國誌研究の統計學風を、率先英國に紹介せんとせる一試みとしては、没すへからざる功績を、有するものゝ如し、而して氏が一層深遠なる研究を、遂げんとする者の便宜を計り、諸所に列擧せる參考書目は、當今に處しその當時の歐洲諸國々勢及統計學研究の狀況を、追考せんとする者のためにも、亦參考の價値に富めるを、想はすんは非ず。